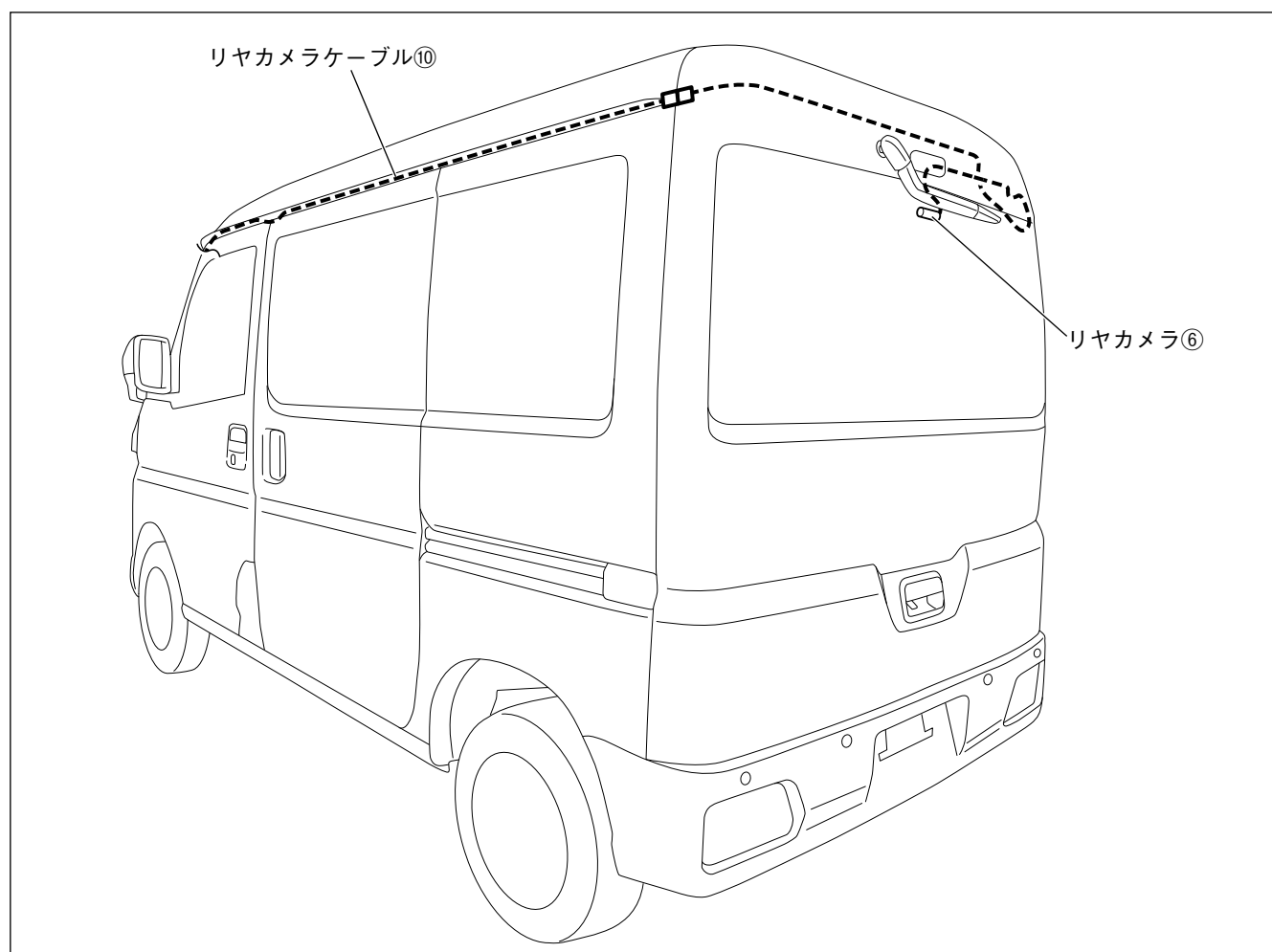
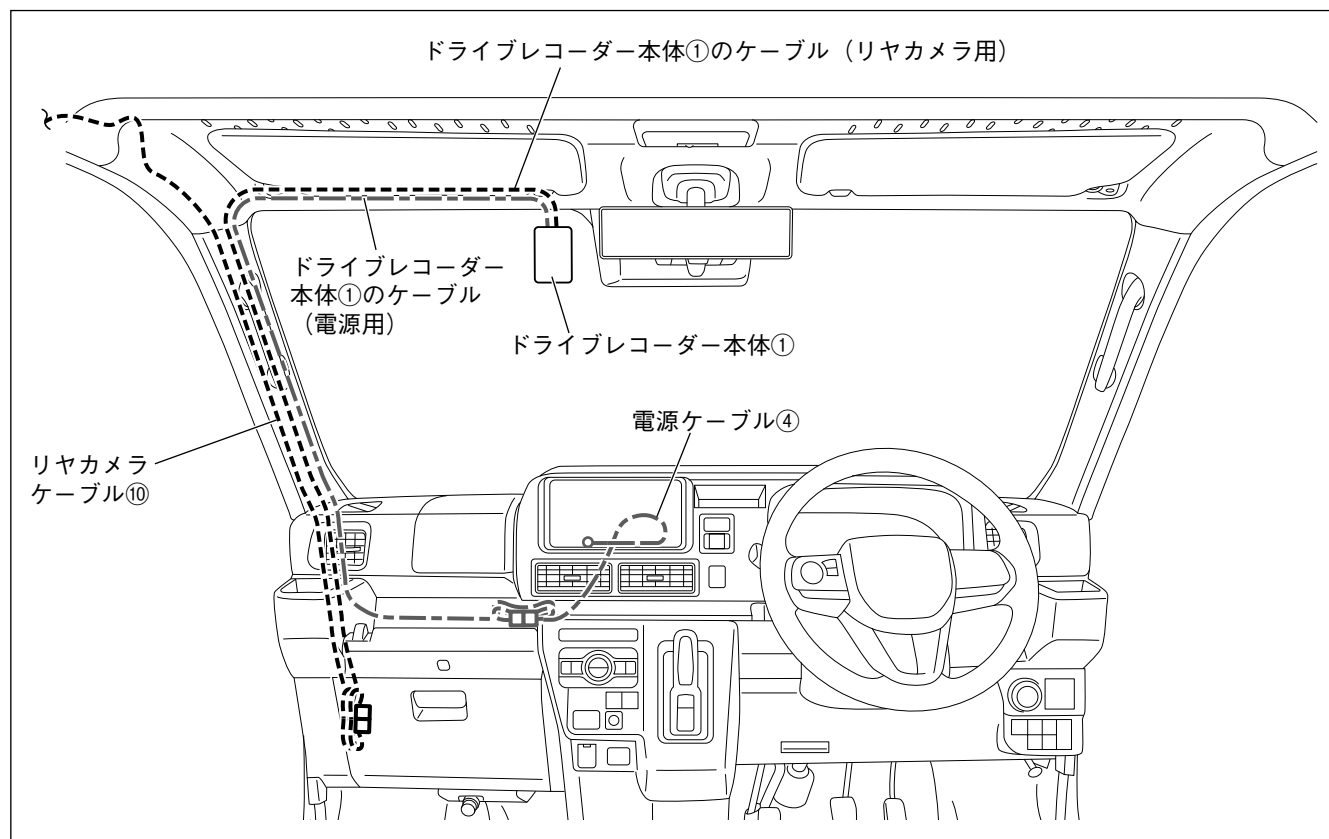


# ■ e エブリイ

## 1. 取付概要図



## 2. 車両部品の取り外し

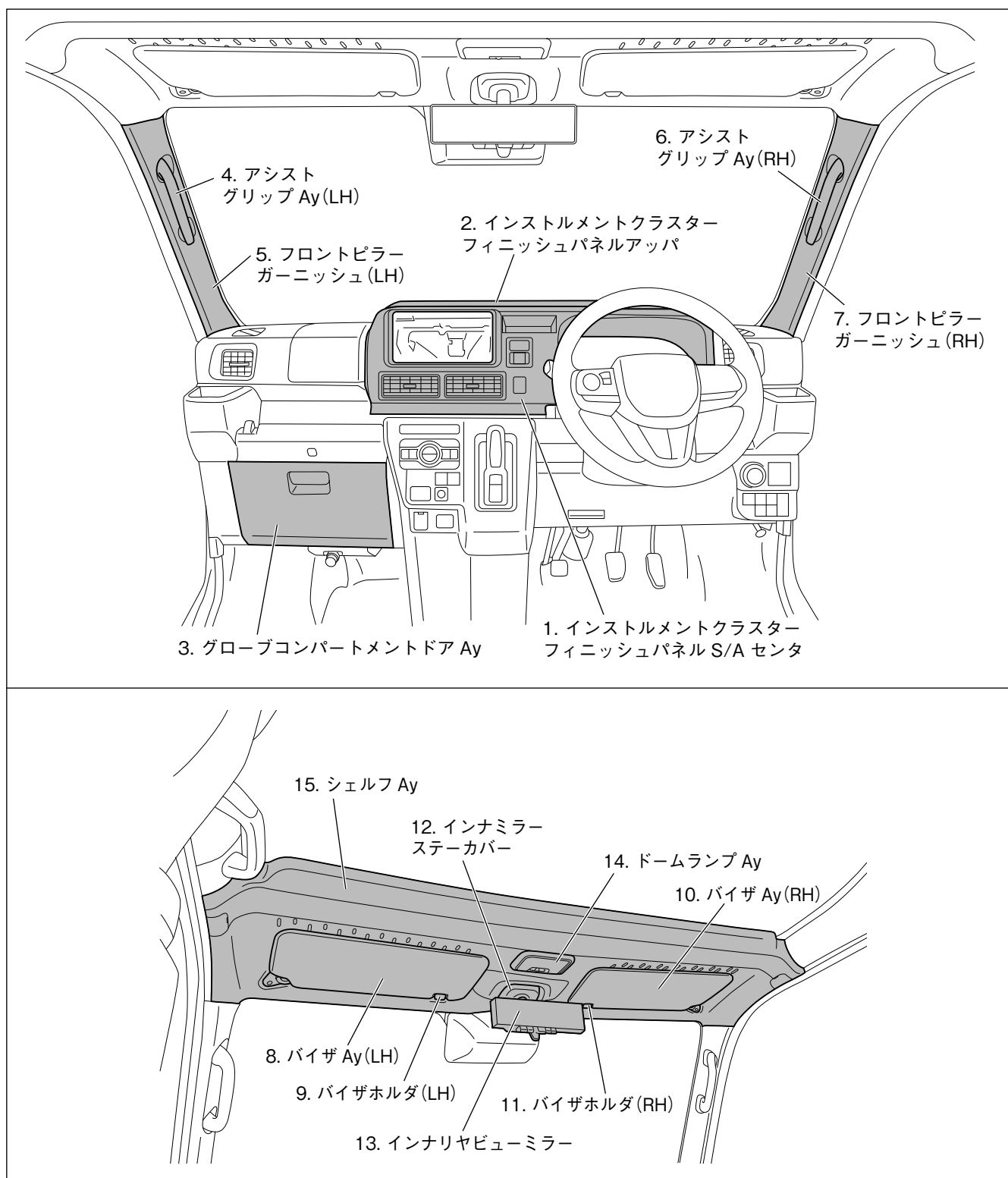
図中の番号順に車両部品を取り外します。

### 注 記

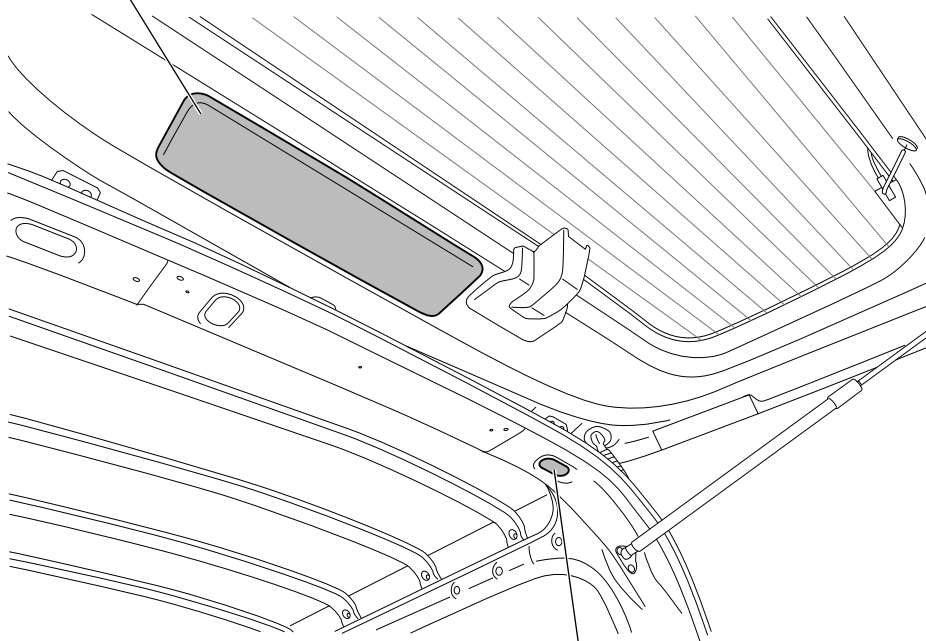
内装部品を傷付けないよう、養生テープなどで保護してから部品を取り外してください。

### アドバイス

車両部品の取り外し方法については、スマートインナーミラー付車を代表として記載しています。その他の仕様も同様に行ってください。



16. リヤワイパーモーターカバー

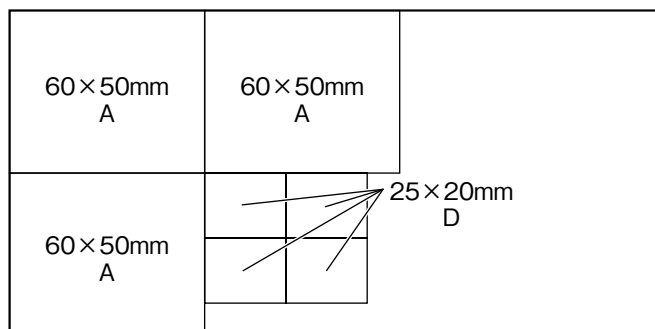


17. サービスホールキャップ

### 3. 取付前の準備

#### a. クッションテープおよび保護シートの準備

クッションテープ(200×100mm)⑫



|               |              |              |
|---------------|--------------|--------------|
| 200×20mm<br>B |              |              |
| 200×20mm<br>B |              |              |
| 120×20mm<br>B | 40×20mm<br>C | 40×20mm<br>C |
| 120×20mm<br>E | 40×20mm<br>C | 40×20mm<br>C |
| 120×20mm<br>E | 40×20mm<br>C |              |

|              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C |
| 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C |
| 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C |
| 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C | 50×25mm<br>C |              |

1. クッションテープ⑫を左図のようにカットします。

A：コネクター接続部巻き付け用

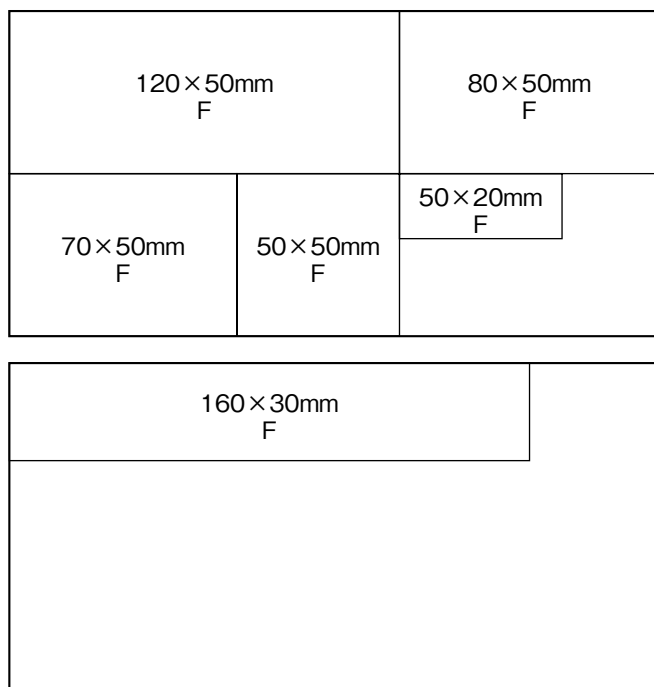
B：リヤカメラ⑥のケーブル巻き付け用

C：ケーブル固定用

D：リヤカメラケーブル⑩巻き付け用

E：余長束ね用

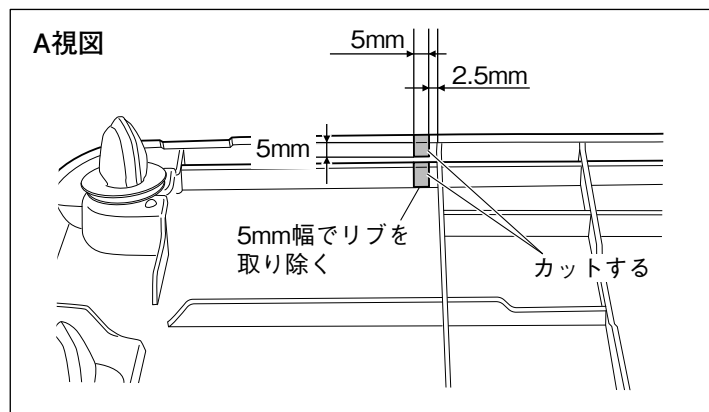
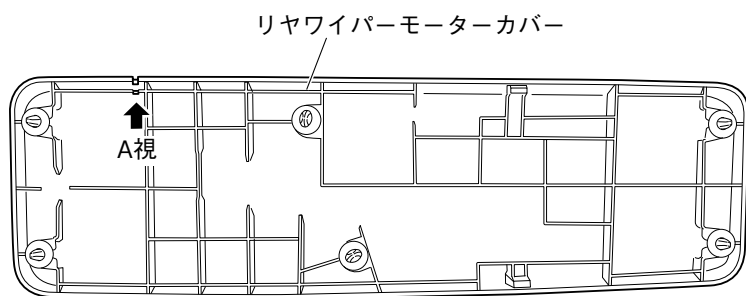
保護シート (200×100mm) ⑬



2. 保護シート⑬を左図のようにカットします。  
F：エッジ保護用

## b. リヤワイパーモーターカバーの加工

<バックドア上部>



1. リヤワイパーモーターカバーの図示位置にケーブル配線用の切り欠き加工をします。

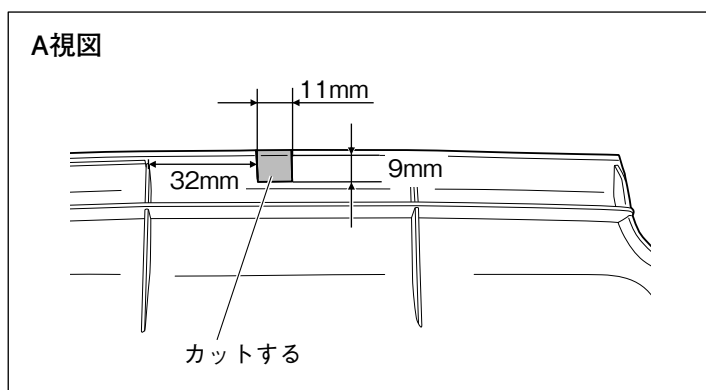
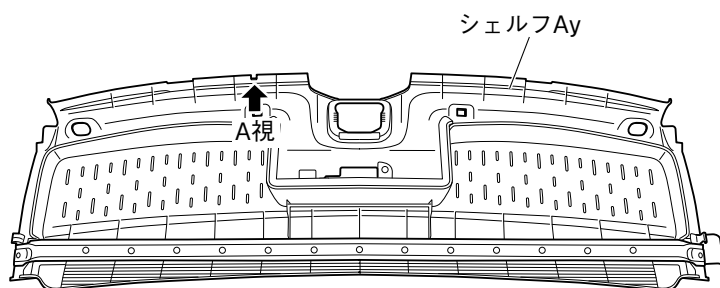
### 注記

切り欠き加工部は、ヤスリがけしてバリ取り作業を行ってください。

### アドバイス

切り欠き加工は、ニッパー等を使用すると簡単に作業が行えます。

## c. シェルフ Ay の加工



1. シェルフ Ay の図示位置にケーブル配線用の切り欠き加工をします。

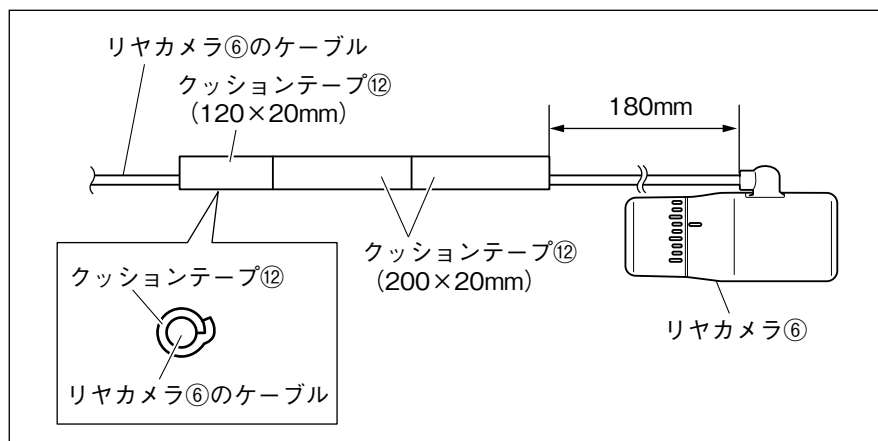
### 注記

切り欠き加工部は、ヤスリがけしてバリ取り作業を行ってください。

### アドバイス

切り欠き加工は、ニッパー等を使用すると簡単に作業が行えます。

#### d. リヤカメラのケーブルの準備

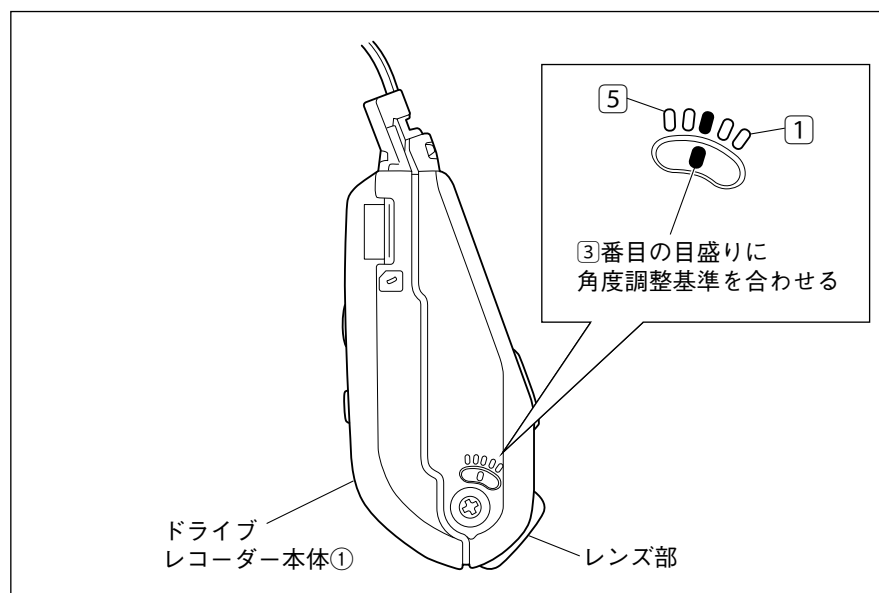


1. リヤカメラ⑥のケーブルの図示位置にクッションテープ⑫を貼り付けます。

## 4. 取付要領

### a. カメラ角度調整

#### ●ドライブレコーダー本体



1. ドライブレコーダー本体①のレンズ部の角度を左図位置に固定します。

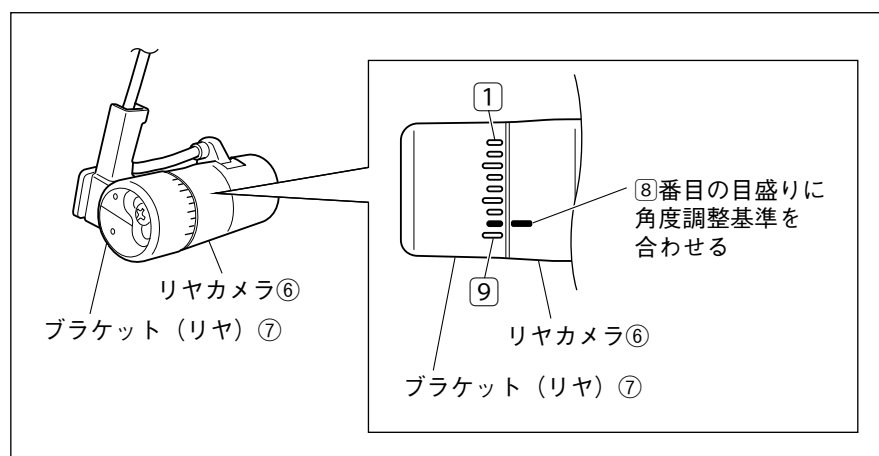
#### 注記

- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。

#### 👉アドバイス

ドライブレコーダー本体①レンズ部の角度調整方法の詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

#### ●リヤカメラ



1. ブラケット（リヤ）⑦をリヤカメラ⑥に組み付け、左図位置に固定します。

#### 注記

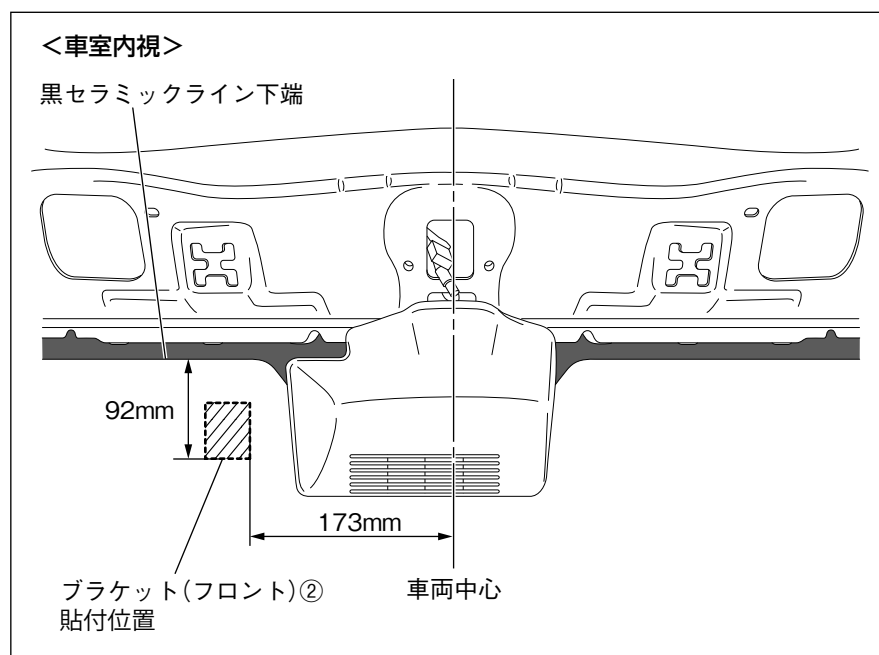
- ・カメラレンズ部の汚れや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- ・しっかりと固定され、がたつき等が無いことを確認してください。
- ・取り付け後にリヤカメラ全体の位置がずれたり、傾いたりするおそれがあります。配線作業をする前には必ず共通編 21 ページに記載されているケーブル引き回しの作業内容を参照してください。

#### 👉アドバイス

ブラケット（リヤ）⑦の組み付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの組み立て>」を参照してください。

## b. カメラ取付位置

### ●ドライブレコーダー本体



1. ブラケット（フロント）②をフロントガラス内側の左図位置に取り付けます。

#### 注 記

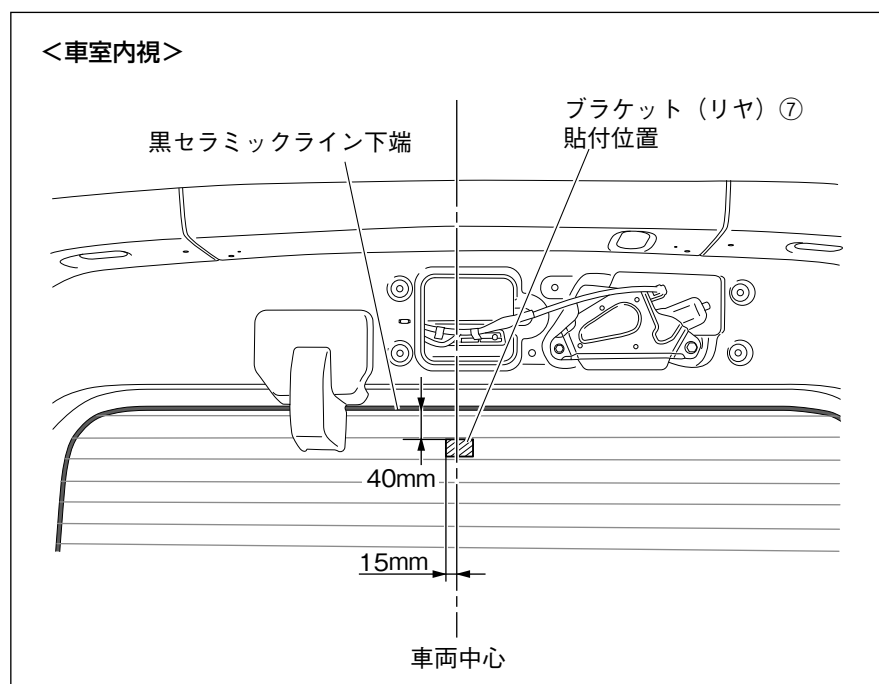
- ・ 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・ 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・ 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

#### 👉 アドバイス

ドライブレコーダー本体①、ブラケット（フロント）②の取り付けの詳細は、共通編の「<ドライブレコーダー本体の取り付け>」を参照してください。

2. ドライブレコーダー本体①をブラケット（フロント）②に取り付け、ネジ(M3×5.5mm)③で固定します。

### ●リヤカメラ



1. ブラケット（リヤ）⑦をバックドアガラス内側の左図位置に取り付けます。

#### 注 記

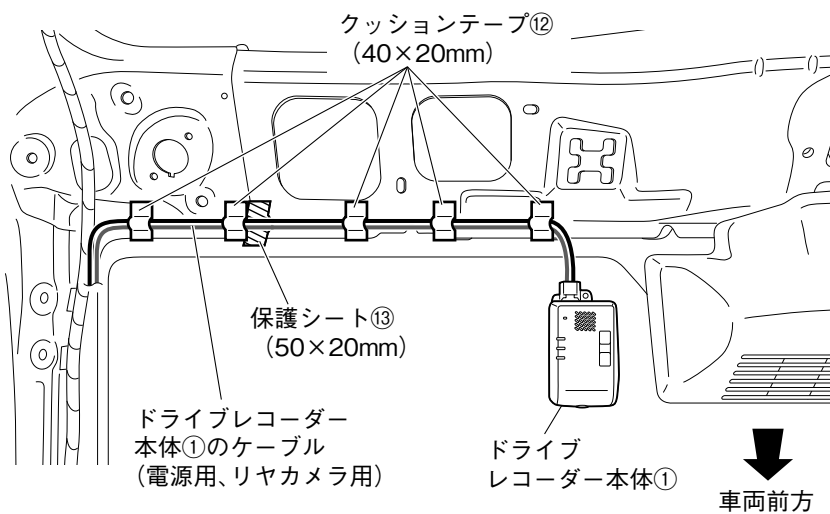
- ・ 取付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・ 接着面に触れたり、ブラケットを取り付け直したりしないでください。
- ・ 気温が低い時（15℃以下）は、取付面をドライヤーなどで温めてから取付作業を行ってください。

#### 👉 アドバイス

リヤカメラ⑥、ブラケット（リヤ）⑦の取り付けの詳細は、共通編の「<リヤカメラの取り付け>」を参照してください。

### c. ドライブレコーダー本体のケーブル（電源用、リヤカメラ用）配線

#### <シェルフ Ay 取付部の配線>

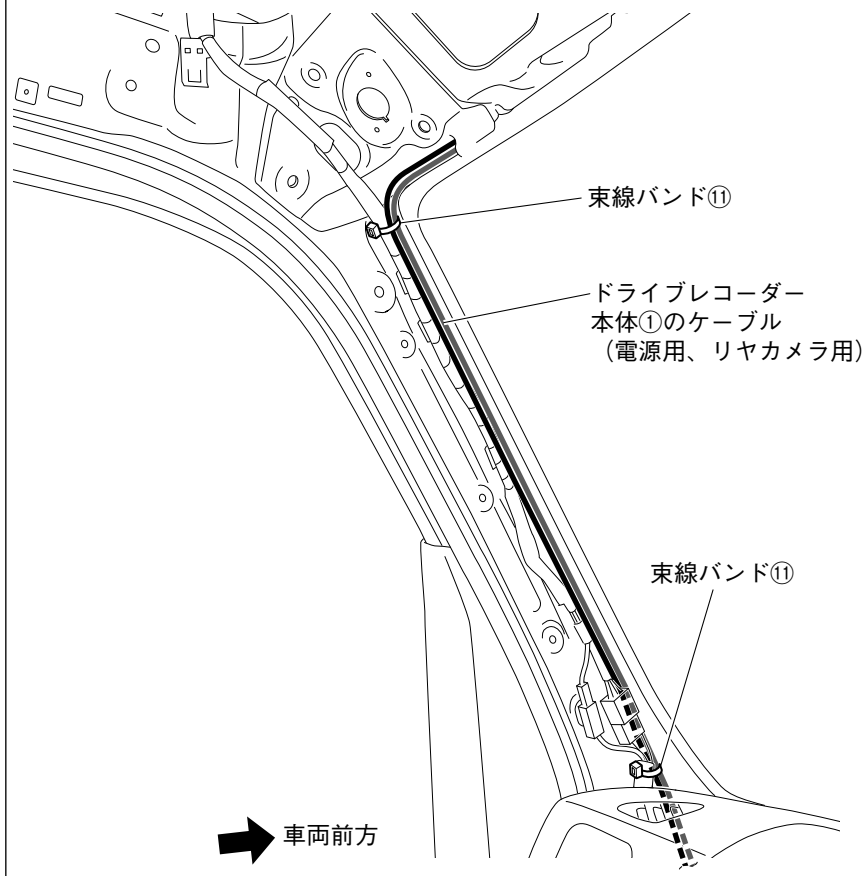


1. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をクッションテープ⑫で固定しながら、フロントピラー部へ配線します。

#### 注 記

図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

### <左側フロントピラー部の配線>

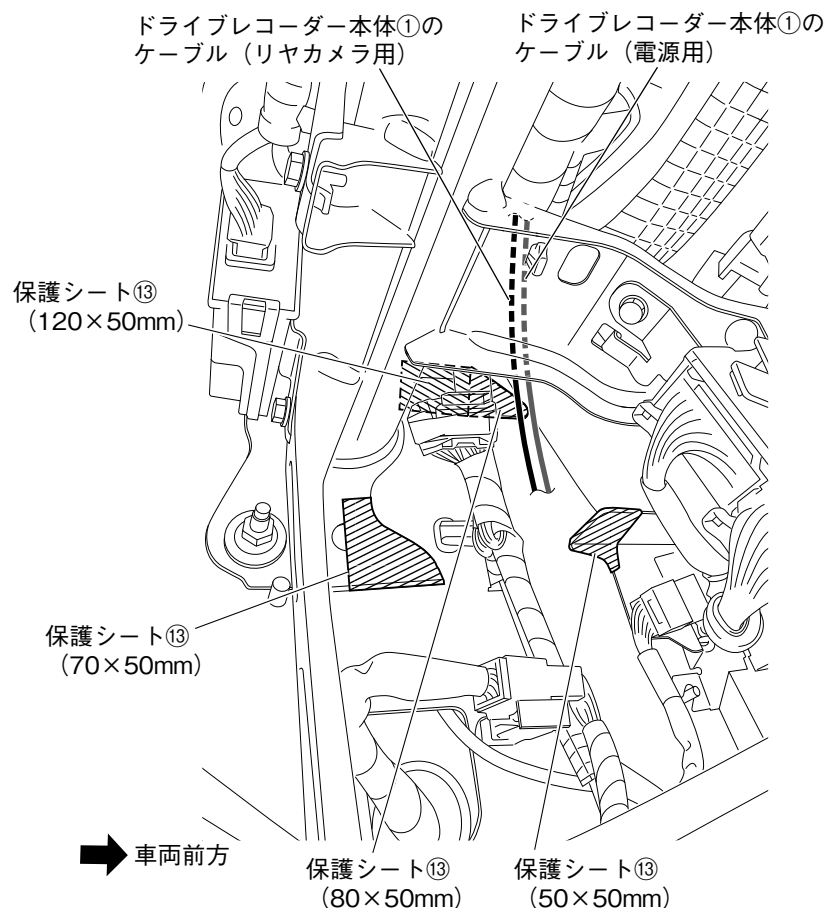


2. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
3. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）をフロントピラーとインストルメントパネルのすき間からグローブコンパートメントドア Ay 取付部に配線します。

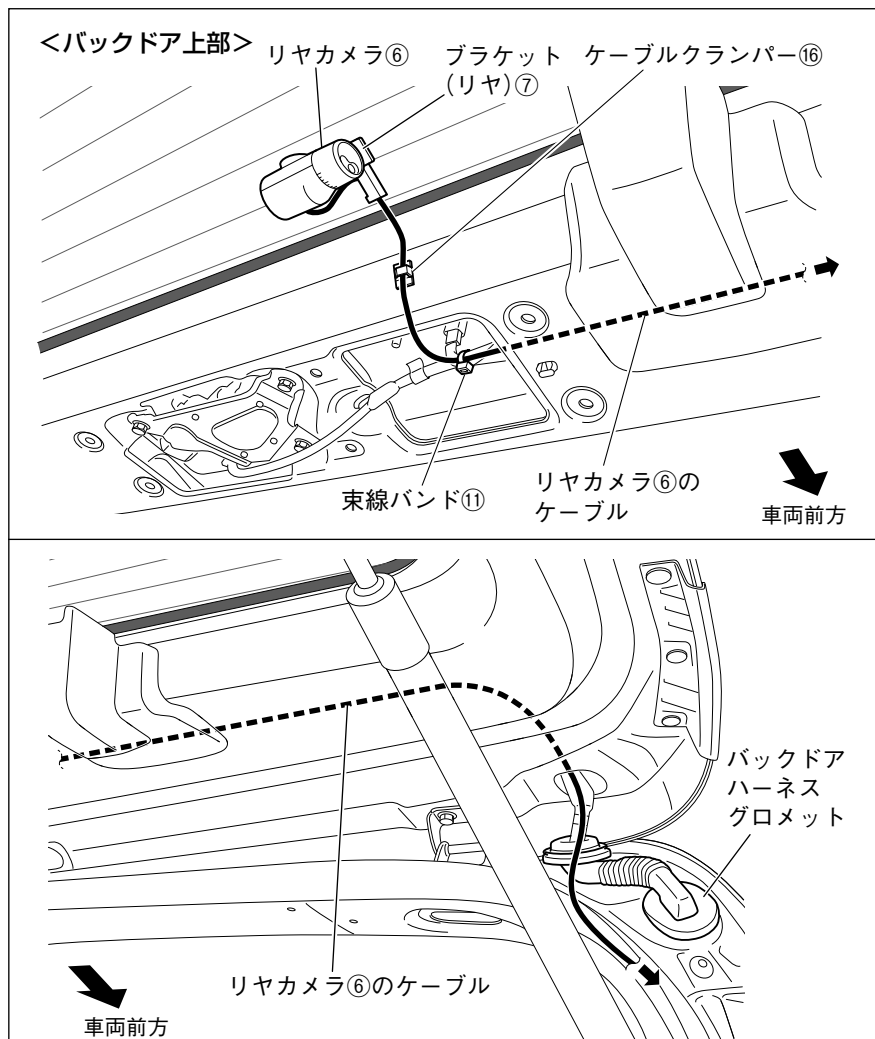
### 注 記

図示位置の板金エッジ部に保護シート⑬を貼り付けてください。

### <グローブコンパートメントドア Ay 取付部左>



## d. リヤカメラのケーブル配線



1. バックドアハーネスグロメットのかん合部をバックドア側および室内側から外します。

### 注記

バックドアハーネスグロメットにはグロメットインナーがあります。グロメットインナーを車体から一旦外し、バックドアハーネスグロメットにはめてから復元してください。

2. リヤカメラ⑥のケーブルをリヤワイパーモーター部の穴からバックドア側の車両グロメット穴まで通します。

### 注記

- ・リヤカメラ⑥のケーブルがブラケット (リヤ) ⑦の奥まで確実に押し込まれていることを確認してください。(共通編 21 ページ参照)
- ・リヤカメラ⑥のケーブルは、配線作業中に引っ張ったりして、ブラケット (リヤ) ⑦の奥から外れないようにしてください。

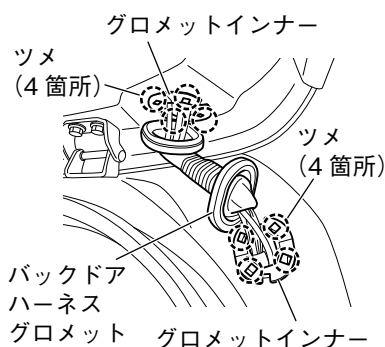
3. ケーブルクランパー⑯でリヤカメラ⑥のケーブルを固定します。

### 注記

- ・ケーブルクランパー⑯貼付面の汚れ等をクリーナー⑭できれいに拭き取ってください。汚れていると接着力が低下します。
- ・気温が低いとき (15℃以下) は、ケーブルクランパー⑯の貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

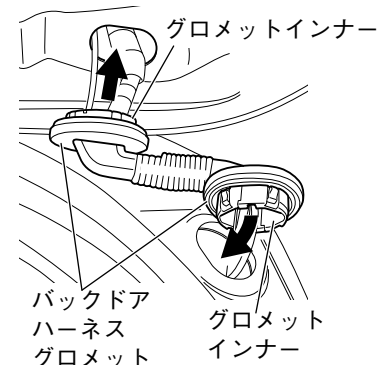
4. リヤカメラ⑥のケーブルを束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

## <バックドアハーネスグロメットの取り外し>



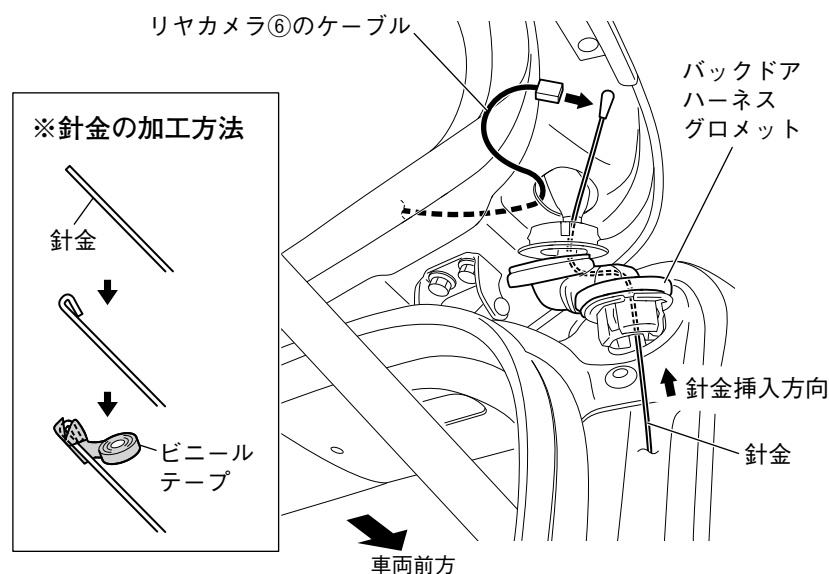
- ① グロメットインナーからバックドアハーネスグロメットを外してください。
- ② ツメ (4箇所) のかん合を外し、グロメットインナーを車体から外してください。

## <バックドアハーネスグロメットの復元>



- ① グロメットインナーをバックドアハーネスグロメットにはめてください。
- ② バックドアハーネスグロメットを車体にはめ込んでください。  
※ツメ (4箇所) のかん合を確実にはめてください。

# <バックドアハーネスグロメット取付部>



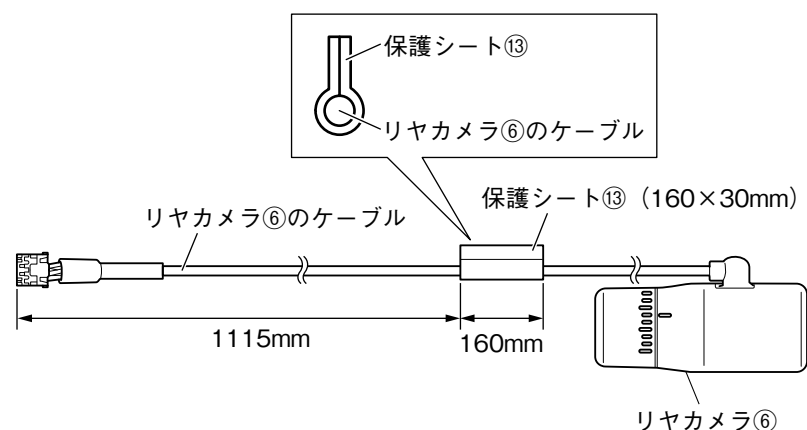
- 針金を使用してバックドアハーネスグロメット内にリヤカメラ⑥のケーブルを通し、室内側まで配線します。

## 注記

- バックドアハーネスおよびリヤカメラ⑥のケーブル破損防止のため、無理に引っ張ったりしないでください。
- リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクタ部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクタや端子に中性洗剤等がかからないようにしっかりテーピングしてください。

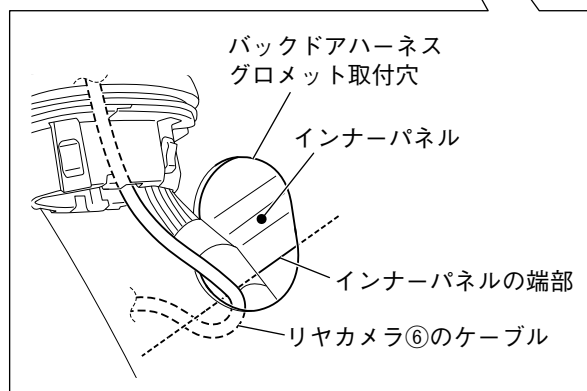
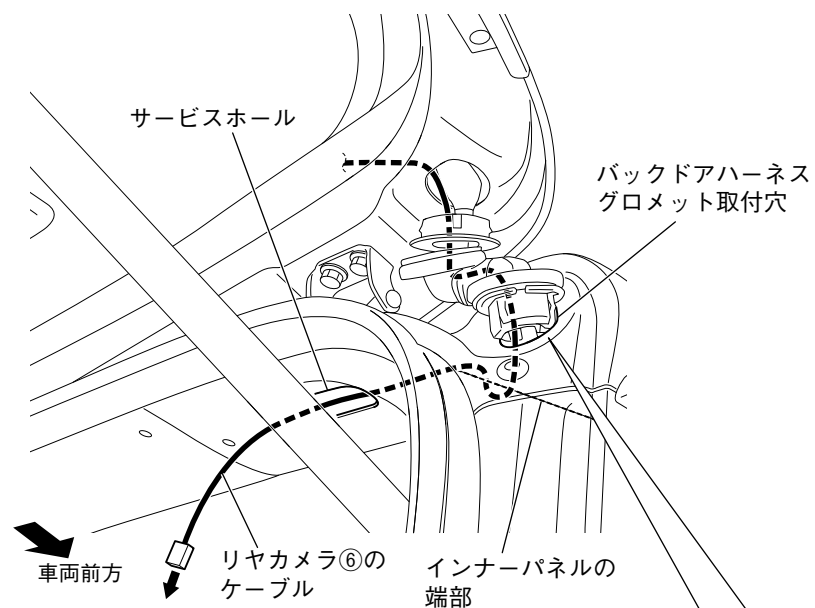
## アドバイス

- 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- 折り曲げた側の針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- リヤカメラ⑥のケーブルのコネクタを針金にしっかりテーピングしてください。



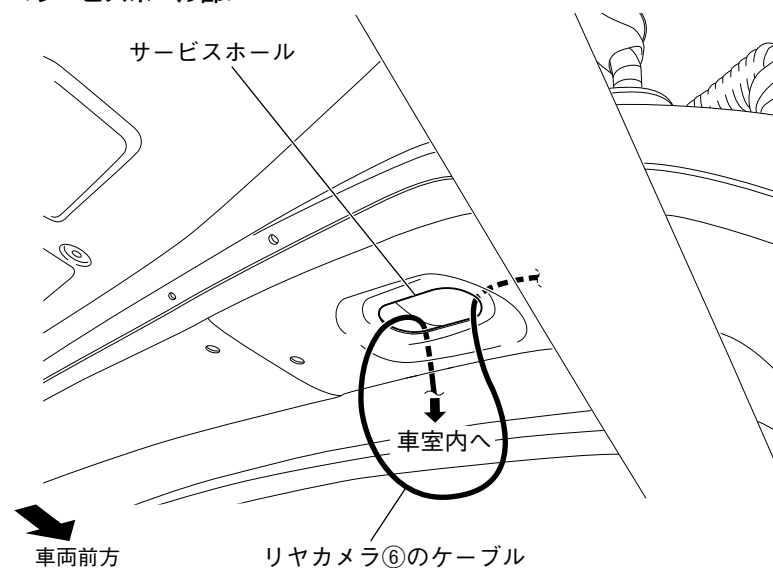
- リヤカメラ⑥のケーブルの図示位置に保護シート⑬を貼り付けます。

<バックドアハーネスグロメット取付部>



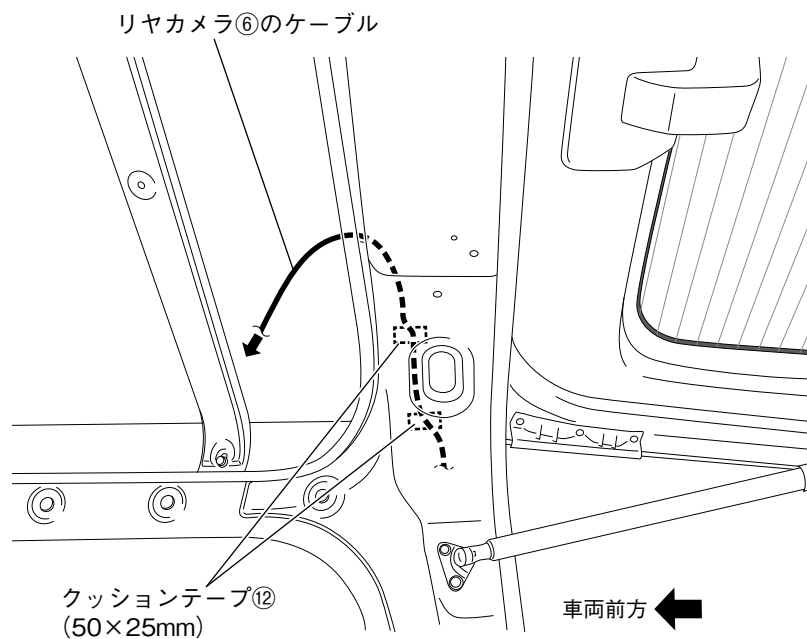
6. リヤカメラ⑥のケーブルをバックドアハーネスグロメット取付穴からサービスホールまで通します。

<サービスホール部>

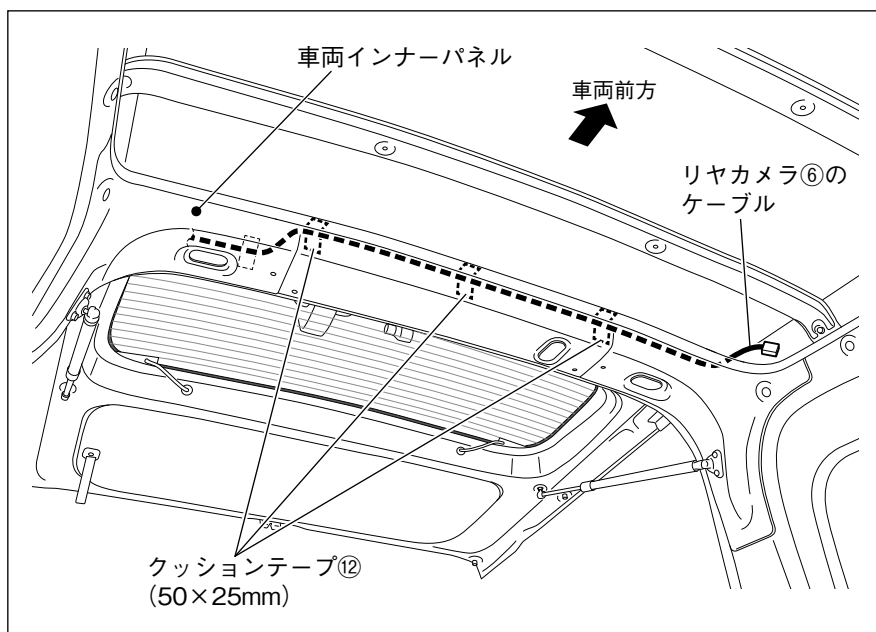


7. リヤカメラ⑥のケーブルをサービスホールから車室内まで通します。

<サービスホール部>



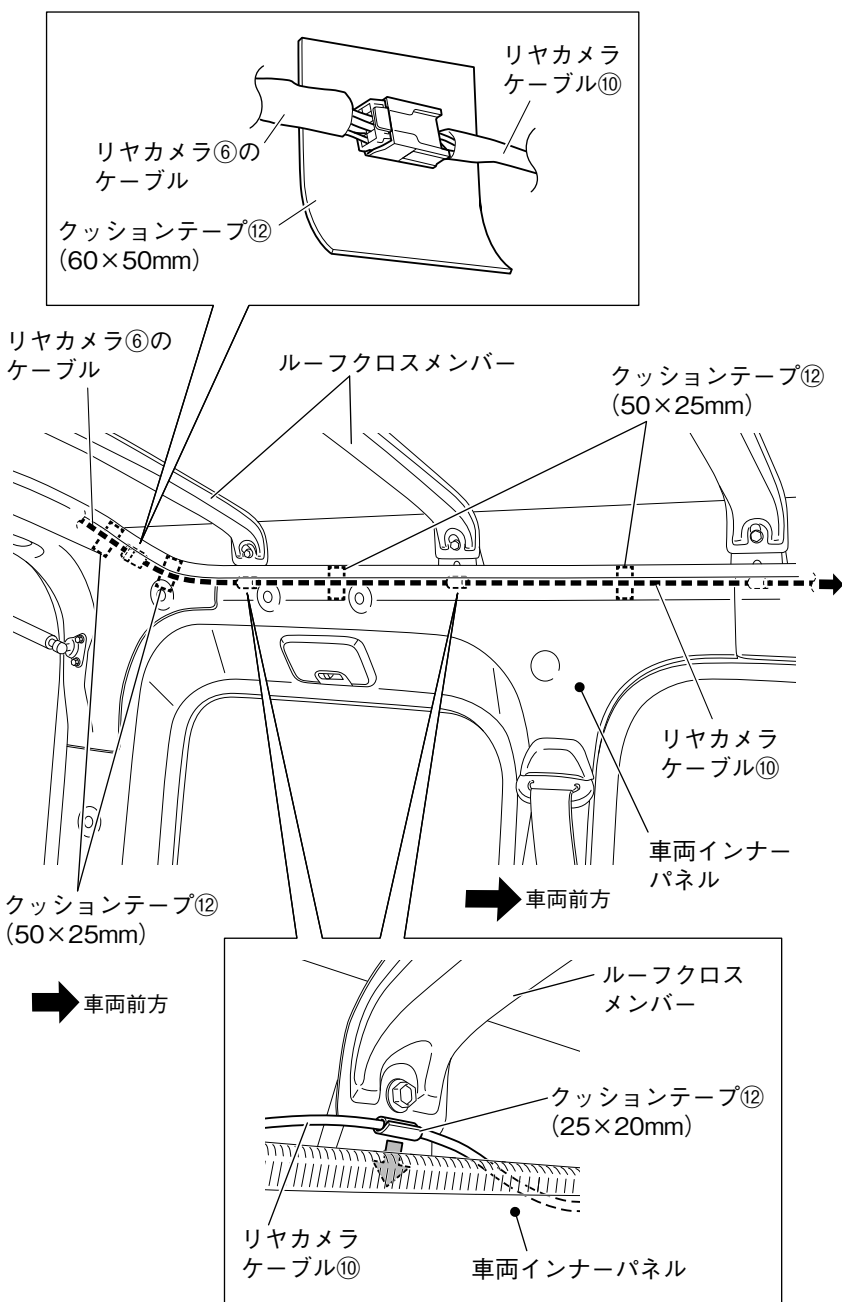
8. サービスホール部のリヤカメラ⑥のケーブルをクッションテープ⑫で固定します。



9. リヤカメラ⑥のケーブルをクッションテープ⑫で車両インナーパネル裏面に固定します。

## e. リヤカメラケーブルと電源ケーブルの配線

<ルーフ左後側>

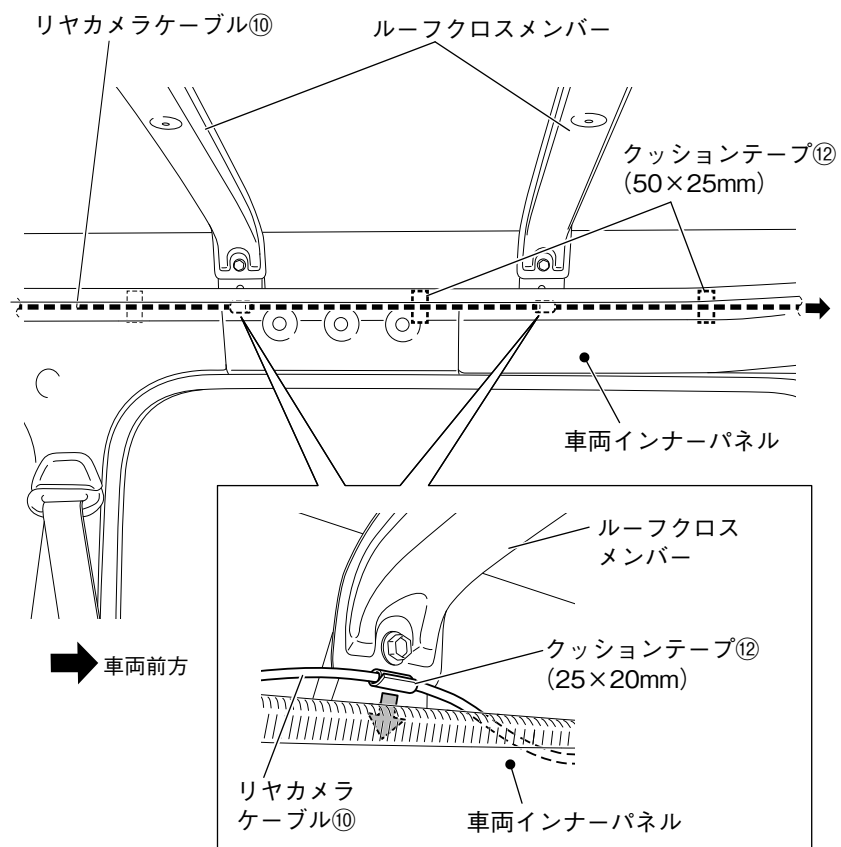


1. リヤカメラケーブル⑩をリヤカメラ⑥のケーブルに接続します。
2. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
3. コネクター部をクッションテープ⑫で車両インナーパネル裏面に固定します。
4. リヤカメラケーブル⑩を左フロントピラー部まで、車両インナーパネル裏面とルーフクロスメンバーの間に配線し、クッションテープ⑫で車両インナーパネル裏面に固定します。

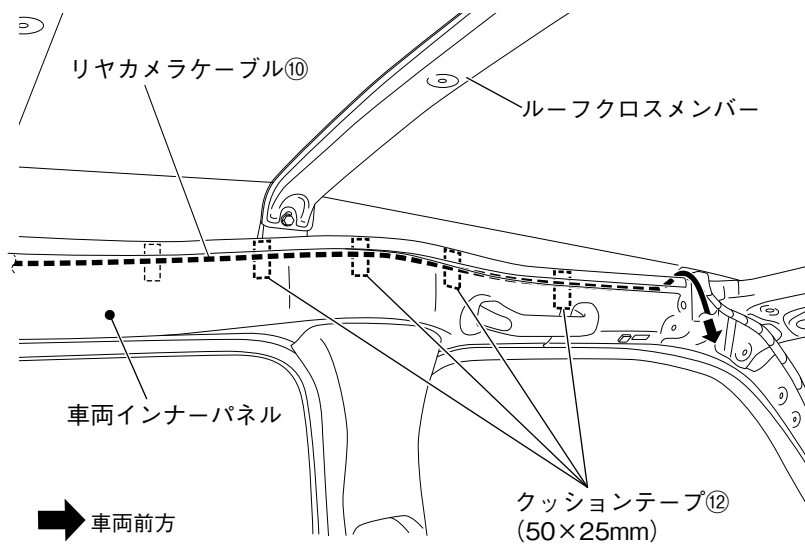
### 注記

リヤカメラケーブル⑩が車両インナーパネル裏面とルーフクロスメンバーとの間にはさまれる部位は、リヤカメラケーブル⑩にクッションテープ⑫を巻き付けてください。

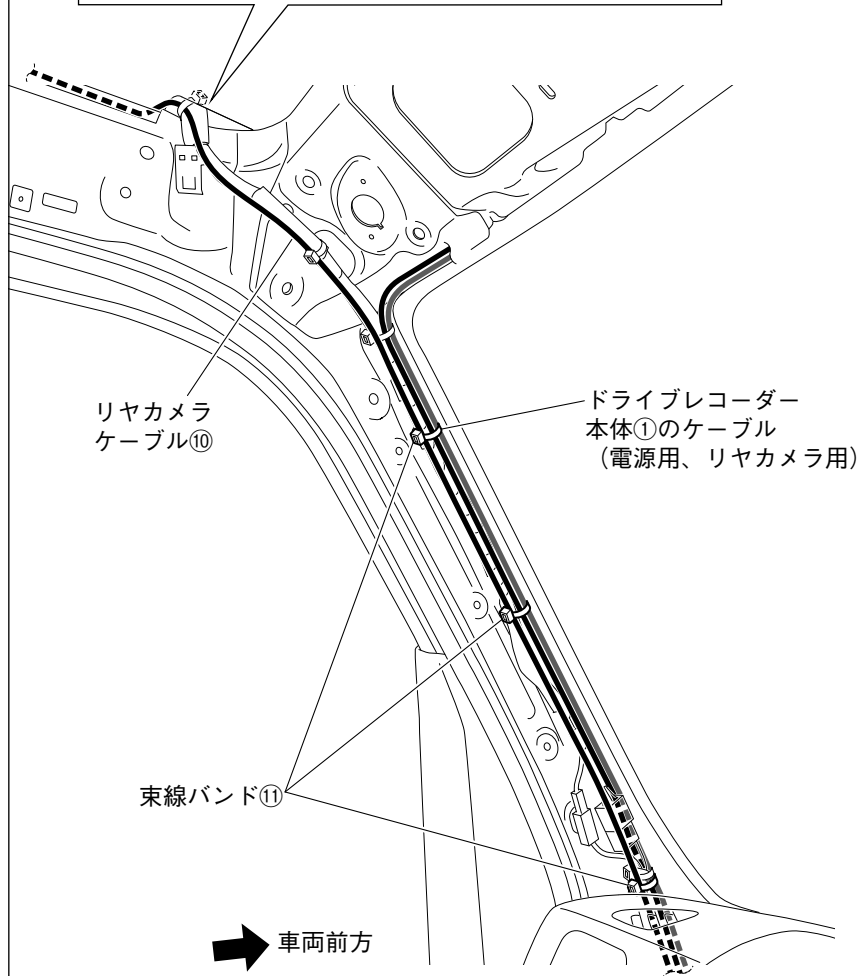
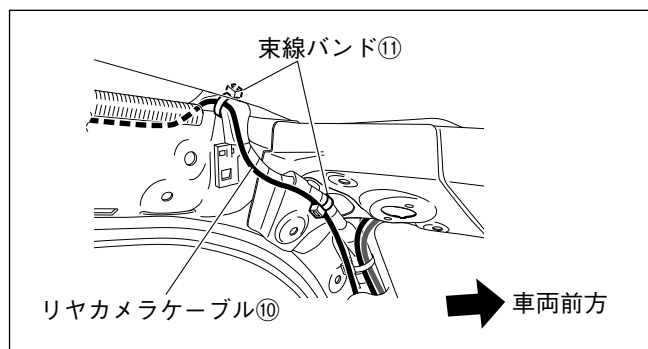
<ルーフ左中央>



<ルーフ左前側>



# <左フロントピラー部>

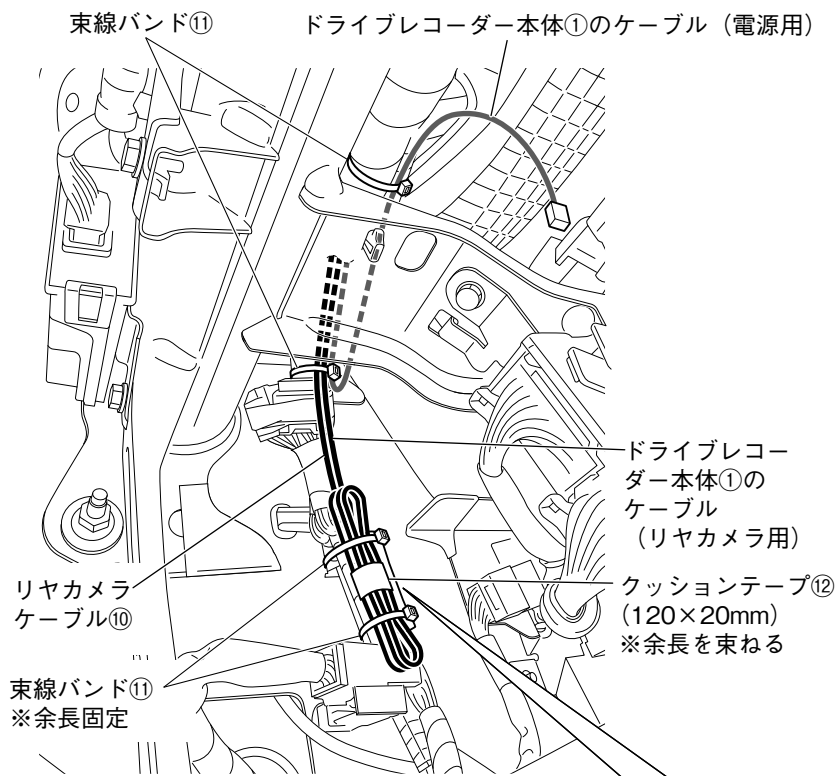


5. 左側フロントピラー部のドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用、リヤカメラ用) とリヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

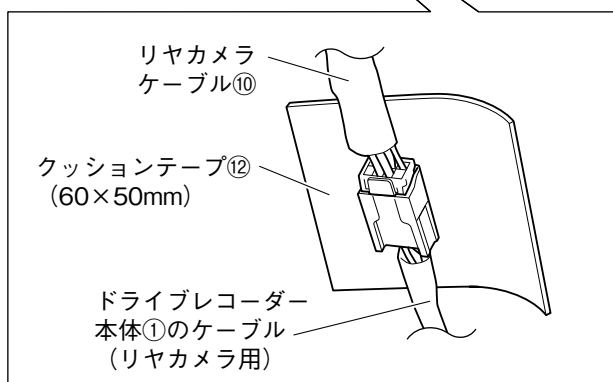
## 注記

左フロントピラー部の固定はドライブレコーダー本体①のケーブル (電源用、リヤカメラ用) も一緒に固定してください。

## <グローブコンパートメントドア Ay 取付部>



➡ 車両前方

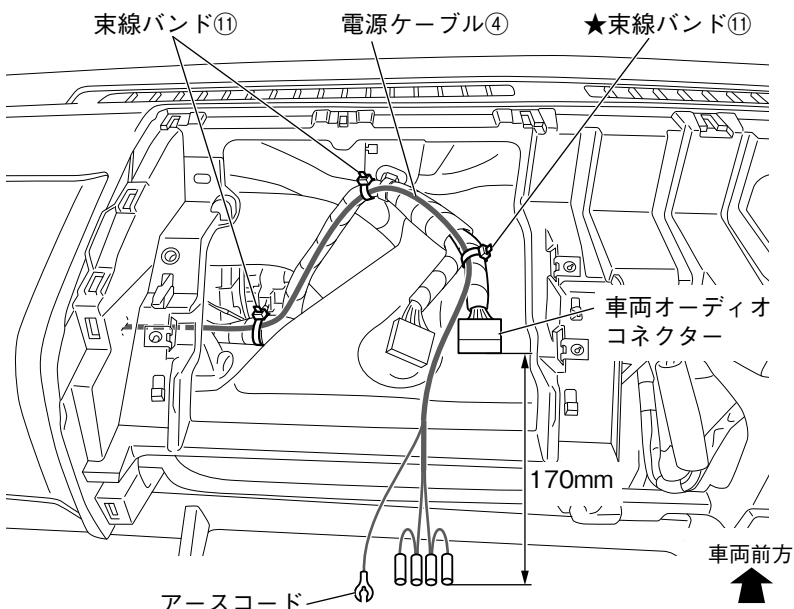


6. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用、リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。
7. リヤカメラケーブル⑩をドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）に接続します。
8. 接続したコネクタ部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
9. ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

### 注 記

- ・ ケーブルの余長はグローブコンパートメントドア Ay と干渉しないように固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（リヤカメラ用）とリヤカメラケーブル⑩の余長は一緒に束ねて固定してください。この時、ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）は一緒に束ねないでください。

## <オーディオ開口部>

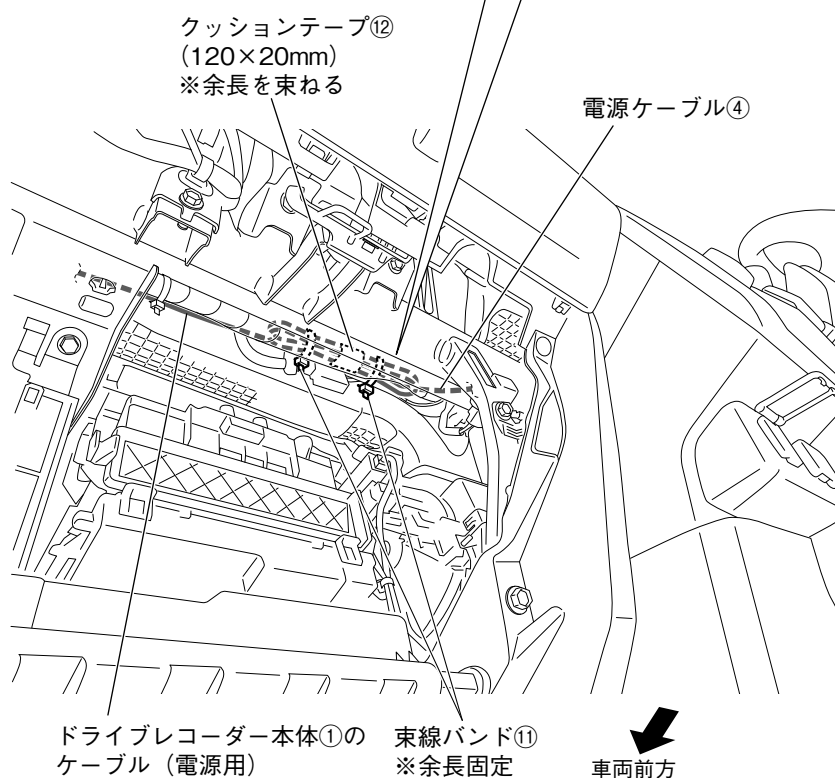
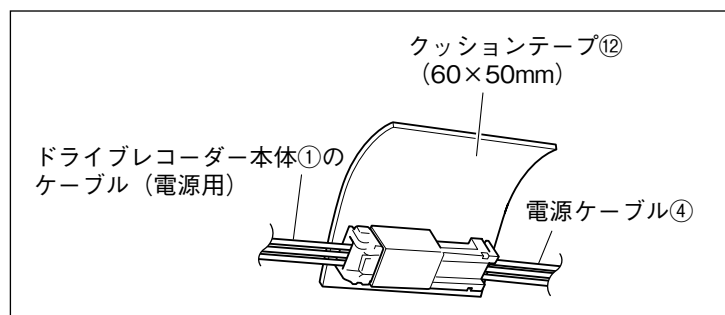


10. 電源ケーブル④をグローブコンパートメントドア Ay 取付部まで配線します。
11. オーディオ開口部の電源ケーブル④を束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

### 注 記

- ★部の束線バンド⑪は、電源ケーブル④のギボシ端子先端から車両オーディオコネクタ先端までを図示寸法に合わせて固定してください。

# <グローブコンパートメントドア Ay 取付部>

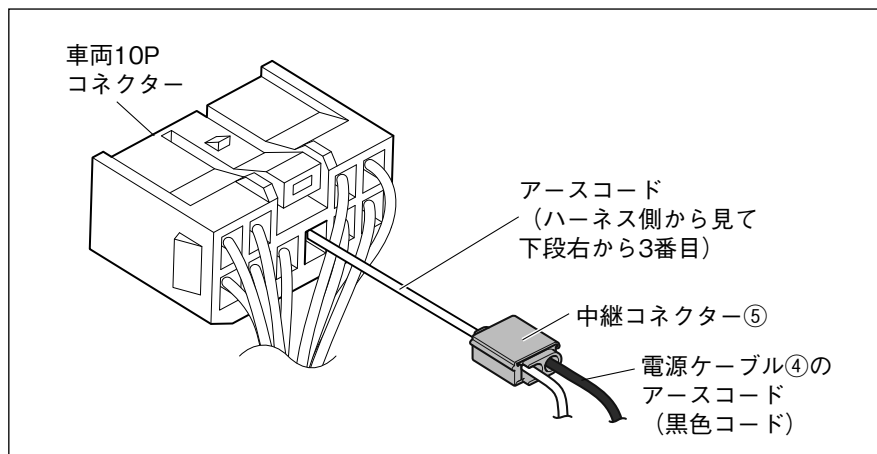
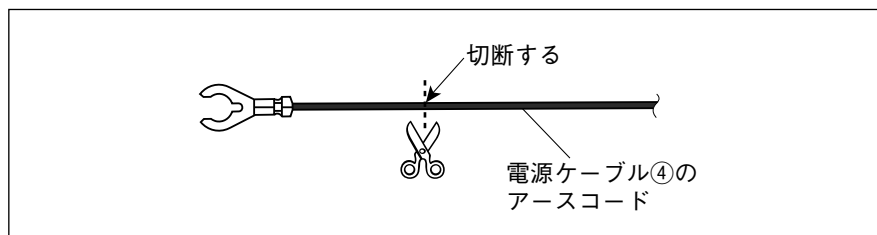


12. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④を接続します。
13. 接続したコネクター部にクッションテープ⑫を巻き付けます。
14. ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長をクッションテープ⑫で束ねた後、束線バンド⑪で車両ハーネスに固定します。

## 注 記

- ・ ケーブルの余長はグローブコンパートメントドア Ay と干渉しないように固定してください。
- ・ ドライブレコーダー本体①のケーブル（電源用）と電源ケーブル④の余長は一緒に束ねて固定してください。

## f. 電源ケーブルのアースコードの接続



1. 電源ケーブル④のアースコード先端のくわ型端子部を切断します。

2. 車両 10P コネクタ (白色) のアースコードに電源ケーブル④のアースコード (黒色コード) を中継コネクタ⑤で接続します。

### 👉 アドバイス

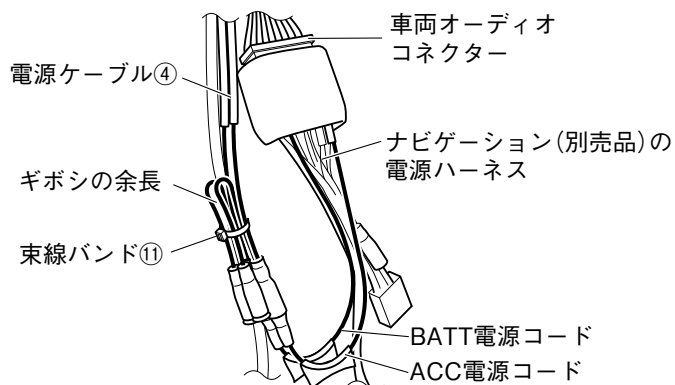
- ・ 電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・ 中継コネクタ⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用方法」を参照してください。

## g. ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領

### アドバイス

電源ハーネスの形状により電源の取り出し要領が異なります。取り付ける車両に応じて接続をしてください。

### ●電源ハーネスにギボシ端子がある場合



1. 電源ケーブル④のギボシ端子をナビゲーション（別売品）の電源ハーネスに接続します。  
ギボシ部の余長は、束線バンド⑪で束ねます。

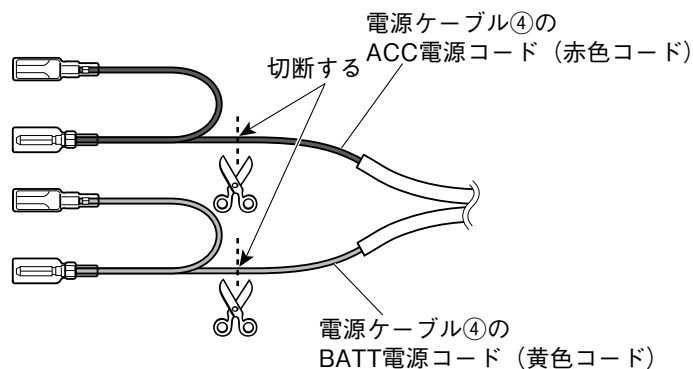
### 警告

接続しないギボシ端子は、共通編の「結線図 ■用品ナビ・オーディオと共着し、電源ハーネスに ACC/バッテリー電源のギボシ端子がある場合」を参照して、必ず絶縁テープを巻き付けてください。

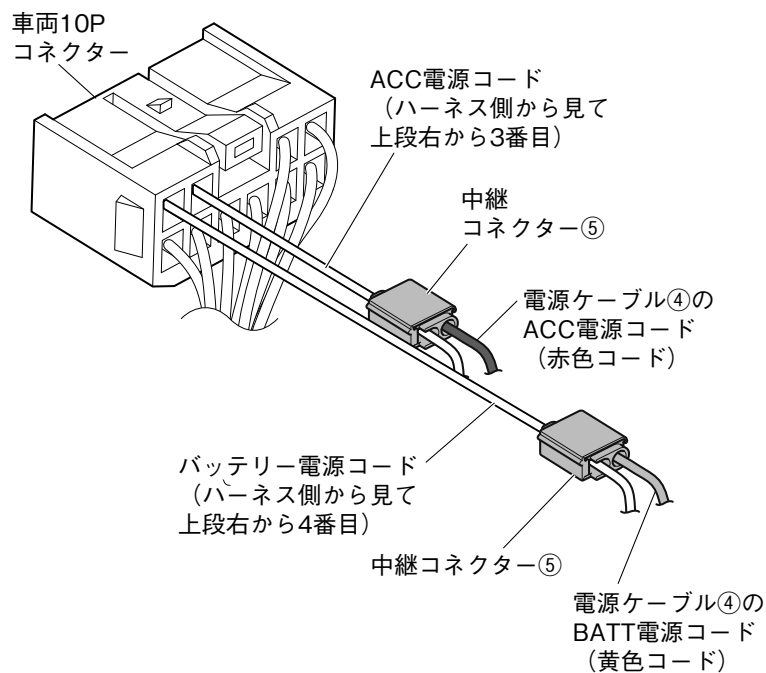
### アドバイス

電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。

### ●電源ハーネスにギボシ端子がない場合



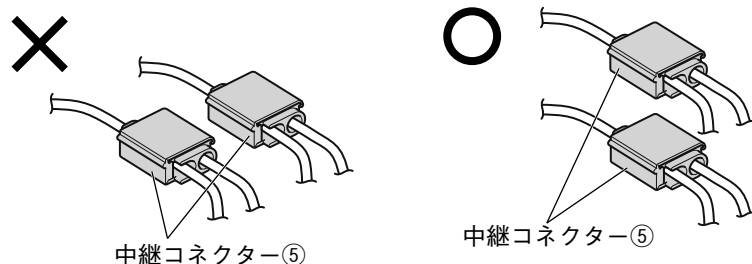
1. 電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）および ACC 電源コード（赤色コード）先端のギボシ端子部を切断します。



2. 車両 10P コネクター（白色）のバッテリー電源コードに電源ケーブル④の BATT 電源コード（黄色コード）を中継コネクター⑤で接続します。
3. 車両 10P コネクター（白色）の ACC 電源コードに電源ケーブル④の ACC 電源コード（赤色コード）を中継コネクター⑤で接続します。

#### 👉 アドバイス

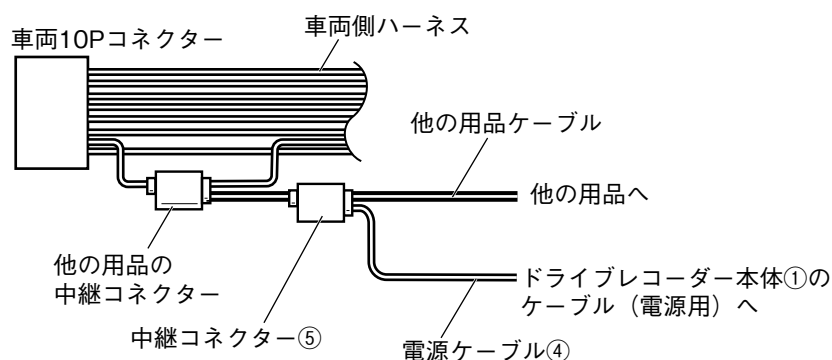
- ・ 電源ケーブル④の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・ 中継コネクター⑤の接続方法は、共通編の「中継コネクターの使用方法」を参照してください。



#### 注 記

- ・ 中継コネクター⑤は、2 個がとなり合わせとならないように位置をずらして取り付けてください。
- ・ 車両側ハーネスのコード 1 本につき、接続する中継コネクターは 1 個としてください。
- ・ 同じコードに接続する用品がある場合は、先に車両ハーネスに接続したケーブルから分岐させてください。

#### ※同時取付用品がある場合



## 5. 車両部品の復元

取り外しと逆の手順で取り付けます。

- ・ 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・ 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。  
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- ・ オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。
- ネジの締め付けトルクが規定されている場合は、規定のトルクで締め付けてください。